

透明マスクと読話

聴覚障がい児とのコミュニケーションにおいて読話（口の動きを読み、音韻情報を捉える方法）は、曖昧な聞こえを補い、手話においても大切な表現方法の一部となっています。一方、新型コロナウイルスの感染予防のために、マスクの着用が推奨されていますが、マスクを着用すると読話できなくなるため、マスク着用をしないで授業せざるを得ない状況となっています。そこで、自立活動支援センターでは、透明マスクの使用をお勧めします。透明マスクは、マスクをしたままでも読話できます。全国の聾学校でも熊本ろう学校をはじめ導入し始めている学校があるようです。

ここでは、簡単な透明マスクの作り方を紹介します。是非、透明マスクを作成していただき、読話もでき感染リスクを抑える学習環境づくりをしていきましょう。

透明マスクの作り方

1 準備するもの

- ◎ ハサミ
- ◎ セロテープ
- ◎ クリアファイル
 - 1枚
- ◎ マスク
 - 1枚
- ◎ ティッシュペーパー
 - 9枚

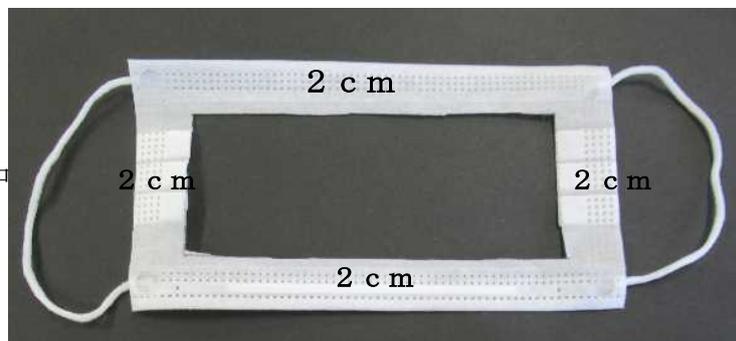


2 所要時間

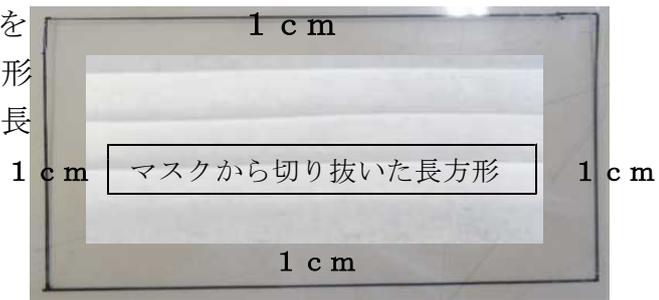
約10分

3 作り方

- (1) マスクの周りを2cm程度残して真ん中を長方形に切り抜く。



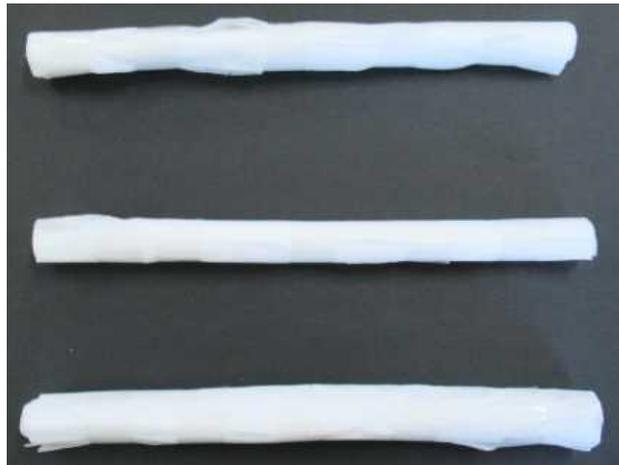
(2) 透明なクリアファイルをマスクから切り抜いた長方形の周囲1 cm程度大きめの長方形に切る。



(3) マスクの表側にクリアファイルから切り取った透明シートをセロハンテープで貼り付ける。空気が漏れないように、シートの周りを全て貼り付けるようにする。



(4) ティッシュペーパーを3枚重ねて円柱状に丸めたものを、3つ作る。丸めたらほぐれないようにセロハンテープで、貼り付ける。



(5) マスクの裏側の周りに、(4)で作った円柱状の筒をセロハンテープで貼り付けたら出来上がり。



こんな素敵な透明マスクができます。これで、口形もよく見え、読話ができるようになります。また、大切な子供たちに感染させるリスクも低くなります。透明シートがくもる場合は、メガネの曇り止めを裏側に塗ることをお勧めします。